

交付対象事業の名称	事業概要	K P I				令和3年度の主な取組とK P Iへの影響	今後の方針	事務局評価
		指標	単位	R3目標	R3結果(見込)			
伝統文化を活用した観光コンテンツ造成のための施設整備計画	からくり文化の発信拠点となる施設を整備し、観光振興の場・にぎわい創出の場として活用することにより、交流人口の増加を図るとともに施設を利用した体験型観光メニューの造成や、犬山祭、からくりに関連した商品の開発・販売などにより市内の観光収入の増加を目指す。 事業効果を高めるための取組として、文化史料館本館からの動線に配慮したスロープの整備(効果促進事業)、北駐車場の改修(単独事業)、他の拠点施設における犬山祭関連ミニライブラリースペースの整備(単独事業)を計画しており、犬山城下町全体の活性化を図る予定である。	① 施設を活用した売上金額 (グッズ販売、特産品販売、イベントなど)	千円	1,725	715	【からくり文化の情報発信】 オープン2年目の令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館期間があったものの、感染対策を継続しつつ館内でのからくり人形実演回数を増やすなど、積極的なからくり文化の情報発信を行った。 【地元業者や市民団体等が開発した特産品・グッズ等の紹介・販売】 地元業者や市民団体等から販売手数料を納めてもらい、36品目のグッズを文化史料館南館で販売した。からくり人形の愛好者や犬山祭のファン層から好評を得ている。 【新たな観光客層の開拓】 新型コロナウイルス感染症が収束しない中、外国人観光客の開拓は進められなかったが、国内の高齢者の外出控えの影響もあり、以前よりも若者の来館者が増加する傾向であった。	【からくり文化の情報発信】 新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が激減し、対面での情報発信が旧来に戻るにはまだ時間がかかることが予想されるが、令和2年度に開始したSNSなどの活用による非対面での情報発信を継続する予定である。 【地元業者や市民団体等が開発した特産品・グッズ等の紹介・販売】 現在すでにグッズの品目は充実しているが、売上を伸ばすための試みとして、販売スペースのレイアウト替えなど販売方法の改善に取り組む。 【新たな観光客層の開拓】 観光客層に占める若者の割合を増やすために、より親しみやすい展示や解説に努め、SNSを活用したPRを継続する予定である。また、観光ツアーの催行が困難な状況であるが、小中学校による団体見学は積極的に受け入れる方針である。	地方創生に効果があった
		② 拠点施設(文化史料館・どんでん館)を活用したイベント開催における施設集客数(延べ人数)	人	8,289	0			
		③ 施設をルートに入れた観光ツアー一件数	件	32	34			